

今年も安達太良山薬師尾根で登山道整備作業を実施した。毎年ロープウェイが利用できる最終平日に刈払機を使用して登山道に張り出した灌木や笹の刈払いを行なっている。今年も会員7名と刈払機三台が参加し用の篠竹の配置や、仙女平



足下に刈払機、篠竹、旗で作ったのは「違い棒」



13日の追加作業



登山者に 篠竹の役目説明中

分岐と五葉松平に赤旗を取り付けた旗竿を立てた。これらは積雪時登山のよい目印になる。当日は十一月としては風もなく暖かで、三連休の前日とあって平日ながら登山者は多く、作業している会員に感謝の言葉を掛けている。

十三日(月)追加作業として、会員二名が参加して木道終点の樹木整理を実施した。

今年最後の登山道整備。当初の予定では十月二十二日、ところが二週続きの台風襲来で二回延期され五日となったもの。当日は六名の会員が、登山道補修箇所に持参した材料で持参した踏み板、土嚢袋二十個ほどを置いて歩き易くした。当日はロープウェイ運行の最終日、ロープウェイは切れ間無く登山客を運んでいたが、こちらロープ



整備材料を持参して、山頂駅



福島署の古川署長から感謝状を受けた古川さん(左)。古川さんは「保護に協力できて良かった。男性が無事で安心した」と話した。

古川さんに感謝状

道に迷った70代男性を保護 福島署

「道に迷った」70代男性の保護に貢献したとして、福島署は20日、一本松市の会社員古川宏幸さん(48)に感謝状を贈った。

古川さんは13日午後7時10分ごろ、福島市小田の路上を歩く70代男性を発見。古川さんが「どうに行くんですか」と声を掛けると、男性は「道に迷った」と疲れた様子で答えた。どちらに整備作業しているのに驚いて出来た道の手入れを行なった。また冬季積雪時道標

十一月二十二日(水)
古川さん・福島署から表彰
報告 事務局



二つ目の梯子



五葉松平の標柱と旗

十一月六日(月)

十一月平日山行 白河市の最高峰・権太倉山

報告 中脇ゆき子

これがすばらしかった。下山コースとして、おすすめ。流れを三回程越える。いずれも川石を伝つての徒渉。ゆるやかな段状の岩の上を、水はなめらかに流れる。潮音を聞きながら、我々も

やっくりと下る。充分に紅葉を楽しんで、十三時三十分、聖ヶ岳着。帰途、天栄温泉にて入浴十五時三十分 二本松無事

帰着。

ゆっくりと下る。充分に紅葉を楽しんで、十三時三十分、聖ヶ岳着。帰途、天栄温泉にて入浴十五時三十分 二本松無事

十一月二十三日(木)

新入会員歓迎登山・虎捕山

報告 編集部

た会員と合流、十四名の参加者全員集合となつた。雨は小雨よりは弱いか。霧雨でもないという程度。九時三十三分拝殿脇の標柱から登り始める。やがて右側の尾根に巨石が現れてくる。緩やかな登り二十分ほどで手水舎到着。この上に鳥居、その奥に「虎捕洞」があつたはずだが、雨の中足下に気を取られていたせいか気づかず、間もなく、狭い急な鉄ばしじを登る。本殿西側のステンレス鎖を伝つて更に奥へ。滑る岩ではないが、踏み外して落ちたら止まる様な場所では無いので、滑つたらと思うと怖い。最終地点は「展望台」十時二十三分。ここで記念写真撮つて本殿下の平場的場」、更に鉄ばしじで十時十五分本殿。ここで記念写真撮つて本殿西側のステンレス鎖を伝つて更に奥へ。滑る岩ではないが、踏み外して落ちたら止まる様な場所では無いので、滑つたらと思うと怖い。最終地点は「展望台」十時二十三分。ここで記念撮影、ここ奥に三角点があつたようだが、小雨模様なので、直ぐ下つた。本殿まで戻る途中、登りと違つて下りなので、滑り易い者ではないが、とつても怖い場所だ。

その後、開店したばかりの飯館村の道の駅「までい館」に行つた。昼頃とあって、めぼしいものは無かつたようだ。雨はすっかり上がつた。ここで、今回の虎捕山山行を解散した。



10時23分 虎捕山山頂展望台

今年の新入会員歓迎登

前八時には、殆ど感じられ

【参加者】三浦敏男、宮島敏廣、中脇ゆき子
【行動】二本松市役所 八時十五分出発。よく晴れていた。矢吹で高速を降り、権田倉山登山口に九時二十分到着。聖ヶ岳登山口は、いきなりの直登。三十分程これが続いて「風穴」に着く。今はまだ枯葉が詰まつただけの岩穴。ここで小休止。ここから道はゆるやかになつたり、登つたり、下つたり。重なつた落葉の上沿いに下ることにする。こ



2017/11

山は、飯館村の佐須の虎捕山、前日から当日の朝まで雨降りの予報、それでも二本松市役所の集合時間午前八時には、殆ど感じられ

見神社駐車場で福島から来

いいくらいに上がってい山、お借りした「休憩所」の前で調理開始。鍋は前日に三浦敏男さんから借りていた。材料は女性陣が下ごしらえしてくれていた。境内の「休憩所」は、前日に竹部さんが話をしてくれて、借りることが出来た。山行とは思えない屋内の椅子テーブル、ストーブ付きの



9時32分、拝殿前で整列 登山前



休憩所内で のんびり



なべ 取り分け中です



ここを借りて 昼食とした

十一月九日 (木)
 湯川渓谷
 アルミ橋板取り外し作業
 報告 編集部

十二月九日 (木)
 に保管を依頼した。くろがね小屋で昼食後、下山しながら道標を回収。午後三時過ぎには二十五枚の道標を回収して無事下山した。

湯川渓谷登山道は積雪期には閉鎖される。登山道のくろがね小屋側入口には閉鎖の旨の看板とトラロープで閉鎖が行われた。登山道の徒歩箇所のアルミ橋板二箇所の撤去も行われた。当日登山口では晴れていたがくろがね小屋付近ではみぞれ、全般に風が冷たかった。くろがね小屋のお風呂、修理は終わっている。覗いてみたら温かいお湯が湯船から溢れていた。



取り外され集められた道標



修理完了のお風呂



橋板 取り外し

十二月一日（土） 十一月山行・花塚山

報告 編集部

十二月一日（土）
 十二月例登山花塚山
 二本松市都市計画課は九月（木）、安達太良山湯川渓谷登山道の道案内サイン看板（丸札道標）の取り外し作業を実施した。十五日の予定だったが十月中に初冠雪となつたため、早めに実施したもの。一番が塩沢登山口、三十番がくろがね小屋で、今シーゲン



12時14分、山頂護摩壇岩脇で下山前に



味噌おでんを戴きました

1時14分、山頂護摩壇岩脇で下山前に
 途中 護摩壇岩（花塚台）
 といらういか そばの三号と、放鹿神社上の一號休憩所、階段を上の高床構造だが、共に床が抜けかけていい。利用する事は出来ない。
 御礼をして駐車場に戻り解散した。

一時十九分護摩壇者到着。三浦副会長は全員分の熱い味噌おでんを準備してくれた。護摩壇岩の西側は日当たりも良く風を防いでくれて比較的暖かい。樂しい昼食時間となつた。十二時十四分、護摩壇岩発。峠までの道には粉雪が積もつていて滑りそう。四本爪適途中では花塚山名所「堅岩」を眺めることも出来る。
 そこから下は日当たりの良い里山道の下り、とても快適。途中では花塚山名所「堅岩」を眺めることも出来る。そこから下は日当たりの良い里山道の下り、とても快適。途中では花塚山名所「堅岩」を眺めることも出来る。そこから下は日当たりの良い里山道の下り、とても快適。途中では花塚山名所「堅岩」を眺めることも出来る。
 三日的新入会員歓迎登山虎、皆さんは迷路や心配掛けた足の痛みの方も少し良くなってきたので、十一月二十一時半分放鹿神社着。十二時五十分放鹿神社着。



護摩壇岩を登る

長い入院生活から解放され、あつという間に四十日。退院後毎日五千歩くらい、神社の約八十段の石段や砂利道など取り入れ一時間ほどのトレーニングを繰り返す。途中では花塚山名所「堅岩」を眺めることも出来る。
 三日的新入会員歓迎登山虎、皆さんは迷路や心配掛けた足の痛みの方も少し良くなってきたので、十一月二十一時半分放鹿神社着。十二時五十分放鹿神社着。

六日からは筋トレと思いに歩けたように思う。二十二七歳のペットボトル二本に水を入れ、ザックに入れて、いつものコース歩こうと思いつ始めた。寒くなり道路が凍る前に体力を付け、来年の安達太良山の山開きを皆と一緒に楽しむためにも頑張らなくては

（十二月二日受信）

アフターレポート
菅野善雄

長い入院生活から解放され、あつという間に四十日。退院後毎日五千歩くらい、神社の約八十段の石段や砂利道など取り入れ一時間ほどのトレーニングを繰り返す。途中では花塚山名所「堅岩」を眺めることも出来る。
 三日的新入会員歓迎登山虎、皆さんは迷路や心配掛けた足の痛みの方も少し良くなってきたので、十一月二十一時半分放鹿神社着。十二時五十分放鹿神社着。

六日からは筋トレと思いに歩けたように思う。二十二七歳のペットボトル二本に水を入れ、ザックに入れて、いつものコース歩こうと思いつ始めた。寒くなり道路が凍る前に体力を付け、来年の安達太良山の山開きを皆と一緒に楽しむためにも頑張らなくては

（十二月二日受信）

アフターレポート
菅野善雄